

パナマ運河の安全輸送と発展を支えて半世紀。

2014年8月15日、開通100周年を迎えるパナマ運河。
東洋電機製造は1960年代からパナマ運河向け曳船用電気機関車に
電機品を納入し、グローバル物流の発展に貢献しています。

1960年代～1983年
曳船用電気機関車（2次車）
76両を納入



横浜港から積み出される2次車の試作車（1961年）

1999年～現在
曳船用電気機関車（3次車）
100両を納入

パナマ運河では狭い運河を船舶が通行する際、水門や両岸にぶつからないように、曳船用電気機関車がロープを船舶に繋いで牽引します。現在、パナマ運河で活躍する曳船用電気機関車（3次車）は、三菱商事・東洋電機製造・川崎重工業・三菱重工業の4社が共同受注したものです。東洋電機製造は曳船用電気機関車の技術統括を担当し、この電気機関車を駆動するためのモータなどの電機品と牽引ロープの巻取り装置を製作しています。



パナマ運河



TOYODENKI

東洋電機製造株式会社 www.toyodenki.co.jp

〒103-0028 東京都中央区八重洲1丁目4番16号 東京建物八重洲ビル TEL: 03-5202-8121 (代表)